

必ずできる!

基礎固め ゼロからはじめる Webアプリケーション開発

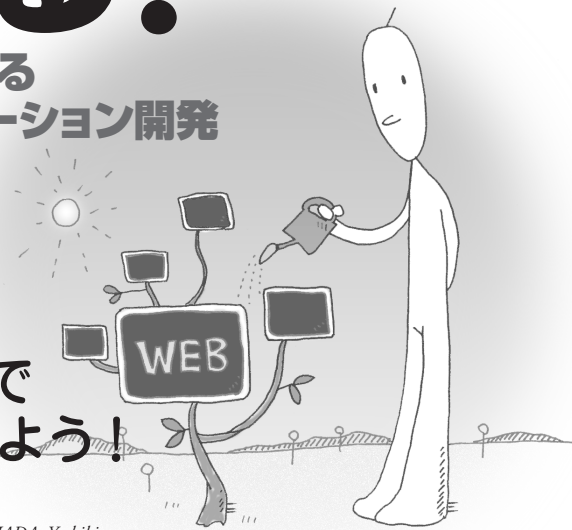
ASP.NET

第7回

DataGridコントロールで データベース連携を極めよう!

—その2—

山田 祥寛 YAMADA, Yoshihiro
<http://www.wings.msn.to/>



Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
MSDE

Level



Samples

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥ASPディレクトリに収録しています。

¥BEGINASPNET :
「グループスケジュール管理」アプリケーション

はじめに

前回から、ASP.NETの代表的なサーバーコントロールである「DataGrid」について紹介しています。DataGridコントロールの基本的な機能自体は「指定されたデータセットの内容に基づいてグリッド表を生成する」という、きわめて単純なものです。数多く用意されたプロパティやイベントを駆使することで、さまざまな応用が可能となる、とても奥の深いコントロールです。

すでに基本的なフォームコントロール、検証コントロール、カレンダーコントロールと学んできたみなさんにとっては、あとはこのDataGridコントロールさえ極めてしまえば、ASP.NETの主要なサーバーコントロールをマスターしたと言っても過言ではありません。今回も、グリッドデータの更新/削除、ページングと盛りだくさんの内容ですが、コードの複雑さに惑わされず、まずは「大枠としてそれぞれの部分が何をやっているのか」の理解に努めてみ

てください。

データの更新

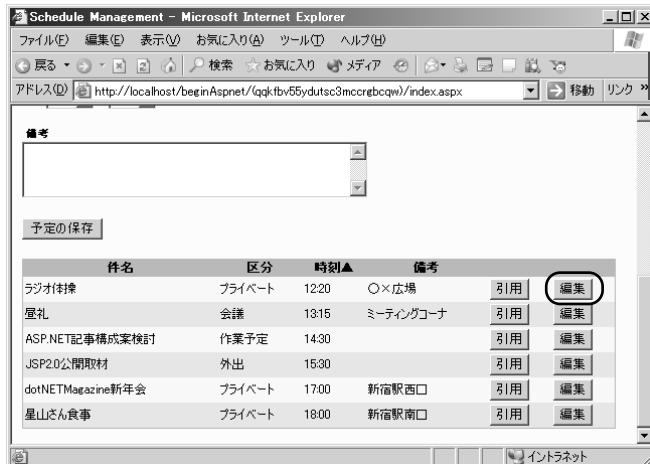
まず最初は、insert.aspxに配置したDataGridコントロールのイベント「EditCommand」「CancelCommand」「UpdateCommand」を利用して、グリッドに表示された既存レコードを更新してみることになります。

DataGridコントロールでデータ編集を行なう際には、まずデータグリッドに「通常モード」と「編集モード」という2つのモードが存在することを理解しておく必要があります。デフォルトで表示されるのは通常モードですが、データの更新を行なう際には、該当の行を編集モードに切り替えなければなりません。編集モードに切り替えられた行の編集可能な列だけがテキストボックスとなり、ユーザーが編集後、最終的に「更新」ボタンをクリックすると、データの変更が反映されるというわけです (図1)。



図1：データ更新の流れ

通常モード。[編集] ボタンをクリック



編集モード。テキストを編集して [更新] ボタンをクリック



さて、グリッド表におけるデータ更新の流れが理解できたところで、更新を行なうための準備に入ってゆくことにしましょう。

＊グリッド表にコマンドボタンを追加する

まずはグリッド表に [編集] [更新] [キャンセル] ボタンを追加してみましょう。図1のように、標準モードで表示されるのは [編集] ボタンのみで、[更新] ボタンと [キャンセル] ボタンは編集モードにおいてのみ表示されます。

これらのコマンドボタンを追加するには、フォームデザイナー上のDataGridコントロールを右クリックし、コンテキストメニューから [プロパティビルダ] を選択して [<DataGrid名>プロ

パティ] ダイアログを起動してください。[列] タブの「選択された列」にはすでにいくつかの列が定義されているはずですが、ここで新たに「使用可能な列」から「ボタン列」-「編集、更新、キャンセル」を追加します。「編集、更新、キャンセル」コマンドのEditCommandColumnプロパティには、それぞれ表1の値を入力してください (図2)。ただし、これらはあくまで表示上の設

定にすぎませんので、必要に応じて、自由に変更することが可能です。

これで、グリッド表の各行に [編集] [更新] [キャンセル] ボタンが追加されました。

＊編集可能な列を決定する

コマンドボタンを追加したら、そのままプロパティウィンドウを閉じずに、各「選択された列」に関する編集の可

図2：[編集] [更新] [キャンセル] ボタンの追加



表1：EditCommandColumn プロパティの設定

プロパティ	設定値
テキストの編集	編集
テキストの更新	更新
テキストのキャンセル	キャンセル
ボタンの種類	PushButton